



Workshop analysis:

The political involvement of future generations

DR.MIYAZAKI FUMIHIKO
(CHIBA UNIV.)

Outline of my presentation

- ▶ What is our “Future Workshop”?
- ▶ The feature of our workshop: backcasting and deliberation
- ▶ Brief overview of future workshop held in Ichihara, Chiba-prefecture
- ▶ Result of a questionnaire and press reports
- ▶ Implications: Democracy and Education
- ▶ Future plan of our research group

What is our “Future Workshop”?

- ▶ A workshop with secondary school children, our future, in the driver's seat.

At the workshop, results of future simulations are communicated and their understanding of the local area is enhanced by a walk around town.

- ▶ They then make policy recommendations, as the future mayors of 2040, to the current mayor.

How our “**Future Workshop**” is characterized by?

▶ The feature of our workshop:

backcasting and **deliberation**

▶ Backcasting: almost all other workshops are characterized by **forecasting**.

▶ Deliberation: making an arrangement to deepen discussions; **JigsawMethod**

Brief overview of future workshop

held in Ichihara, Chiba- prefecture (summer 2015)

- ▶ The First Day(August 19, 2015)
- ▶ The results of future simulations are communicated to secondary school children
- ▶ Walk around the town with a future map of the local population of 2040.
- ▶ The Second Day(August 20,2015)
- ▶ The participants write down the challenges of 2040 and make policy recommendations to the current mayor as the future mayor.
- ▶ the number of entrants:40

2040年へのまちづくり
中高生が未来市長になって考える

いちはら



未来ワークショップ

市原市 × 千葉大学OPoSSuM

2015.8.19 Wed & 20 Thu

<http://opossum.chiba-u.jp>

CONGRATULATIONS



2040年8月19日

あなたは
「いちはら未来市長」に
就任しました。

おめでとうございます！

でも……

未来には
いろいろな課題が山積み
になっていました。



Explanation
lecture of the
results of future
simulations

Moving to
South Town
by local
train





Walk around the town in the south area of Ichihara

hear a talk
of rural life at
the oldest
elementary
school





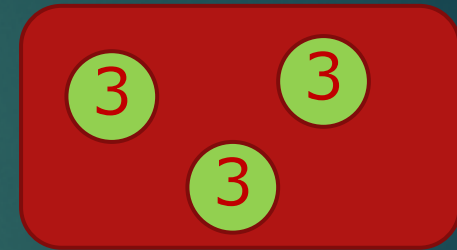
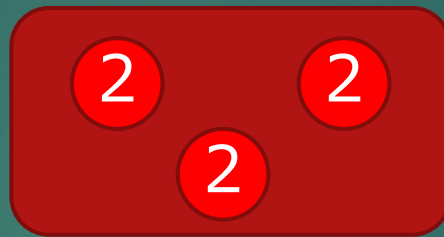
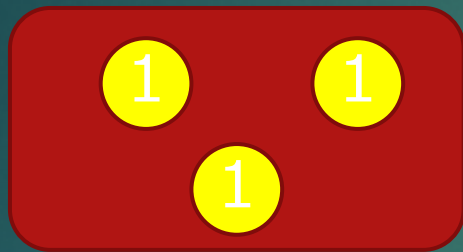
hear a
talk of
industry of
waterfront
area of
Ichihara

The Second Day(August 20,2015)

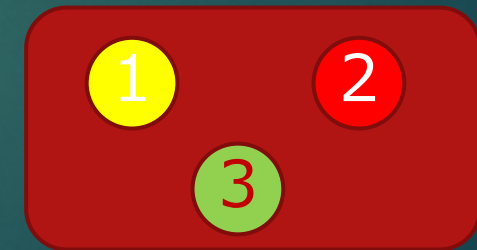
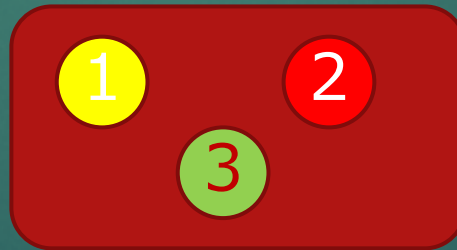
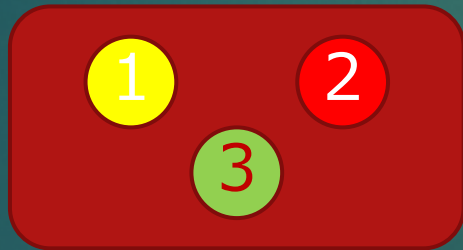
- ▶ The students write down the challenges of 2040 and make policy recommendations to the current mayor as the future mayor.
- ▶ The students worked in groups on problems. Each groups are consisted by six students and those six are from different school.
- ▶ The groups are mixed, moreover by “Jigsaw” Method
- ▶ The facilitators(academics or graduate student) support each groups.

"Jigsaw" Method

Original Group



Expert Group (Mixed)





Future mayors make policy recommendations to the current mayor.



Presentation to the current mayor



The Future mayor(s?) and the current mayor



policy recommendations by the future mayor(s?)

#To foster a better working environment for women

#Parenting support

#Supporting for elderly people to go shopping

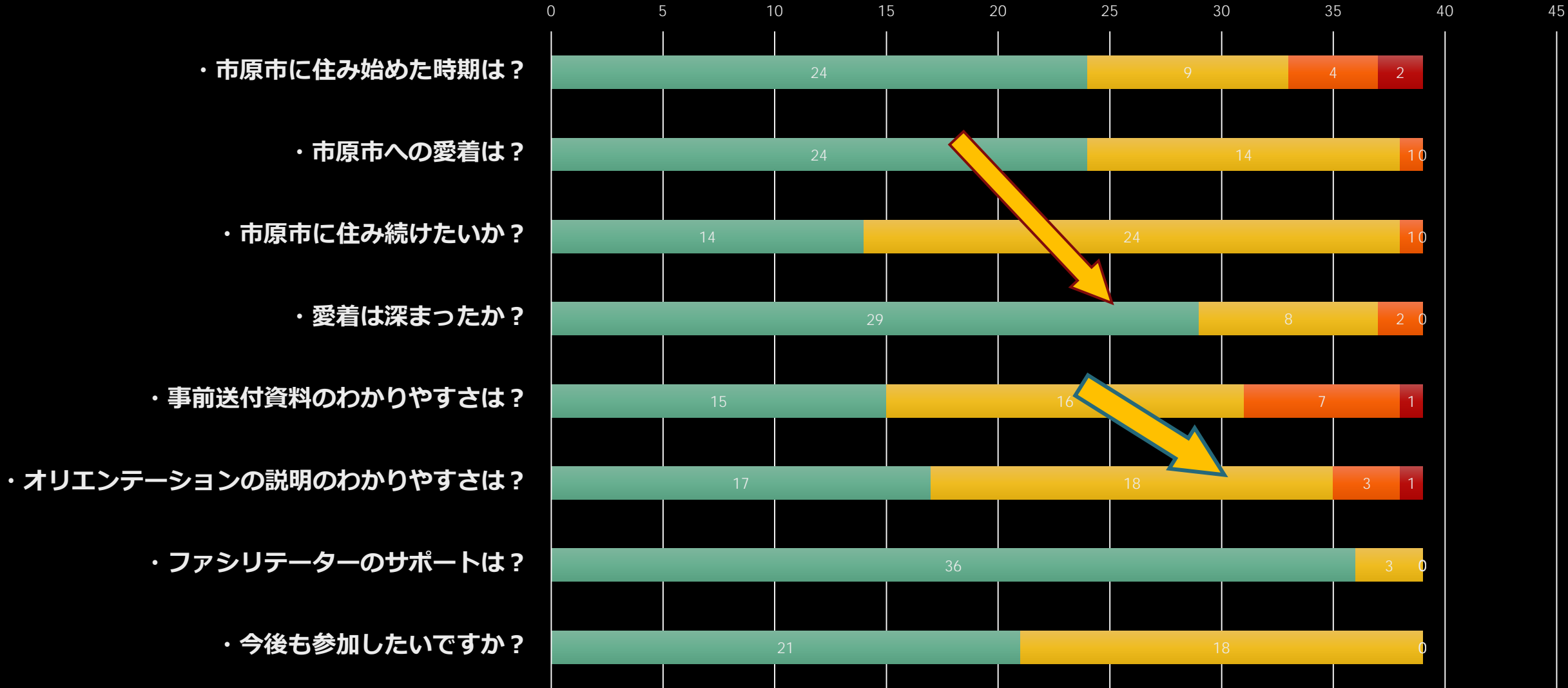
#Patrol the community by children in elementary and middle school

#Fund-raising for future Ichihara

#Promote Ichihara city as an attractive city



Result of questionnaires



■ 生まれたときから、強くそう思う、理解できた

■ 1～5歳、ややそう思う、ほぼ理解できた

■ 小学校低学年、あまりそう思わない、やや難しかった

■ 小学校高学年以降、まったくそう思わない、かなり難しかった

「私が市長」解決策を提案

市原の生徒40人 ワークショップ

私鉄乗車や製油所見学

市原市の中学生が、人口減少や高齢化が進行している2040年に市長に就任したという想定で、市の課題と解決策について考える「いちほら未来ワークショップ」が19、20の両日、開

かれた。市が年度に策定する予定の総合計画(参考)として、千葉大の研究グループと合同で初めて行った試みで、市内13の中学、高校から生徒40人が参加した。

初日の19日は、「10年で利用者が3割減少している私鉄・小湊鉄道に乗り出した。今後、空き家の増加が懸念される地区を散策したり、市内で唯一残っている木造校舎の「内田未来学校」、臨海地域にある製油所を見て回ったりした。

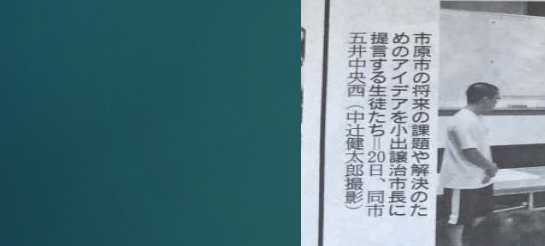
20日は見学で感じた市の課題についてグループに分かれて話し合った。生徒か



小出市長(右奥)と市の未来像を提言する子どもたち(20日、市原市)

らは「旅行会社とも協定して小湊鉄道を修学旅行に使ってもらう取り組みを」という意見や、家を高齢者の集いの場として活用できないかという提案が出された。ほかには、減少する農業従事者に対して、学校の授業で農産物を取り入れたらという声も上がった。

これらの意見をまとめた小出議治市長に提言し、意見交換の場面も熱心な出市長は、「今すぐ取りたい提案はありますか」とも市長に負けないという声も上がった。



市原市の将来の課題や解決のためのアイデアを小出議治市長に提言する生徒たち(20日、同市五井中西(中津健太郎撮影))

ちは教育

中高生が「未来の市長」に

総合計画反映へ政策提言

市原

将来世代の立場から今後、市政推進の方針を定める「まちづくり」を考える「市総合計画が最終年度を迎えるのまじつくり」をテーマに、中高生の声を聞く「いちほら未来ワークショップ」が19、20の両日、市原市の明日をデザインする「が、20の両日、市原市で開かれ、市長に就任した中高生約40人が出席する市の課題をめぐって出議治市長に政策提言を行った。



ワークショップで将来に向けて必要な政策をまとめる中高生(20日、市原市五井中央西のサンザ市原)

中高生は初日、市の財政を支える臨海部企業と市南部の交流拠点の一つ、内田未来学校(旧内田小学校)を視察。都市部から農村部までを包括する市の特徴を学び、シミュレーションを活用し、2040年のまちの姿を展望した。

2日目は同市五井中央西の複合ビルサンザ市原でワークショップ。初日の学習を生かし、未来の市長として今すべき政策を項目別に洗い出し、7班に分かれて提言を精査、順位付けし、総仕上げの発表に臨んだ。

政策提言では「交通網が未発達な市南部で路面電車の整備を」「廃校を内田未来学校のような形で活用して」「などの声が上がった。ほか、財政健全化に向けて「市が支援を求めるユニークな意見も。小出市長は、今後の取り組み

「南北の人口の差など市の現状がよく分かった。私たちの提言が市総合計画に反映され、将来、少子高齢化が解消されていたらうれしい」と期待した。

「甲子園」向け研究発表 君津 農業学を学ぶ高校生集結

「甲子園」向け研究発表 君津 農業学を学ぶ高校生集結

夏休み、考えた！学んだ！楽しんだ！

未来市長、25年後を討議

市原市の中学生が市の将来を考えた「いちほら未来ワークショップ」が19、20の両日、同市五井中央西のサンザ市原で開かれた。市内13の中学、高校に通う生徒40人が参加し、「生徒が市長になったら」という想定で市の抱える課題について熱心に討議した。出された意見は、小出議治市長に直接提言した。

長として、25年後の市長になったとの想定で市の将来について考えた。市内の散策やプロジェクト側面が用意された市のアタを参考に、南部地域の過疎化や小湊鉄道の利用率減少といった課題をめぐり出した。解決策として、交通網の改善や豊かな自然を生かしたイベントによる活性化、旅行客誘致、料金見直しによる小湊鉄道の利用率回復といったアイデアが続々と集まった。

ゾウの餌や糞の分解体験

千葉市動物公園でワークショップ

千葉市動物公園(同市若葉区)で20日、夏休みの自由研究を手助けする小学生対象のワークショップが開かれ、「うんちやおなかからの手紙」と題した講座で児童らが動物の糞について学んだ。参加した児童らは、牧草を成形したゾウの餌「ヘ」を動物の糞を分解して飼料

八幡中3年の立花晴貴さん15は「2年後の市長になったつもりで話した。いろいろな意見に触れられて貴重な体験ができた」と話した。

Implications: democracy and education

- ▶ The meaning of this workshop
- ▶ Democracy: political involvement or Assessment feedback to the comprehensive city plan
- ▶ Education: civic education.

Future plan of our research group

- ▶ “Future Workshop” at Yachiyo City in this year(2016), and at Tateyama City in the next year(2017)
- ▶ Now recruiting applicants for „Future Workshop” from all the cities in Japan